



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月16日

上場会社名 株式会社イクヨ 上場取引所 東
コード番号 7273 URL <https://www.ikuyo194.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 孫 峰
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括本部 (氏名) 飯野 英明 TEL 046-285-1800
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	22,309	74.9	488		328		2,959	
2025年3月期第3四半期	12,758	2.7	72		67		0	99.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,440百万円 (%) 2025年3月期第3四半期 85百万円 (84.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	121.84	103.25
2025年3月期第3四半期	0.27	

当社は、6月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	32,528	14,873	40.6
2025年3月期	16,254	7,070	42.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 13,214百万円 2025年3月期 6,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		30.00	30.00
2026年3月期		30.00			
2026年3月期(予想)				3.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、6月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年3月期(予想)につきましては、当該株式分割の影響を考慮した配当予想を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)年間配当金は1株当たり330円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,201	170.2	955		793		3,256		148.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は6月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2 社 (社名) KUNSHAN VERITAS AUTO
MOTIVE SYSTEMS CO.,LTD 除外 社 (社名)
株式会社タマダイ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	29,385,000 株	2025年3月期	17,444,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2026年3月期3Q	199,080 株	2025年3月期	153,580 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	24,291,809 株	2025年3月期3Q	1,523,193 株
------------	--------------	------------	-------------

当社は、6月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、高水準の賃上げによる実質賃金の改善と堅調な設備投資に支えられ、緩やかな回復基調を維持しました。一方で、米国の関税政策などの影響で7-9月期には一時的なマイナス成長を記録するなど、外需の不透明感が重石となりました。物価上昇率は徐々に鈍化しましたが、日本銀行は経済の底堅さを背景に10-12月期に追加利上げを実施しています。総じて、内需が景気を下支えしつつも、海外情勢に翻弄される不安定な局面が続きました。

当社グループが属する自動車業界では、国内生産の正常化により販売が回復した一方、米国の追加関税が直撃し輸出が大きく落ち込みました。EV需要の減速に伴いハイブリッド車が再評価されましたが、輸出比率の高い企業を中心に赤字転落するなど業績の二極化が鮮明となっています。高水準の賃上げやコスト増も重なり、外需の変動と収益維持の両面に苦慮した期間となりました。

このような状況の中で、当社グループの売上高は堅調に推移したものの引き続き原材料、副資材高騰などの影響によりコストは増加傾向にあります。他方、合理化による経費節減を行っておりますが、コスト増加分を吸収するには至っておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は22,309百万円（前年同期比74.9%増加）、営業利益488百万円（前第3四半期連結累計期間は営業損失72百万円）、経常利益328百万円（前第3四半期連結累計期間は経常損失67百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,959百万円（前第3四半期連結累計期間は四半期純利益0百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は17,498百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,345百万円増加しました。主な内訳は、現金及び預金4,021百万円、売掛金2,958百万円、電子記録債権1,342百万円が増加したこと等によるものです。有形固定資産は8,460百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,299百万円増加しました。主な内訳は、金型の取得によるものです。投資その他の資産は3,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,251百万円増加しました。主な内訳は、その他2,545百万円が増加したこと等によるものです。

この結果、資産合計は32,528百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,274百万円増加しました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は12,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,043百万円増加しました。主な内訳は、支払手形及び買掛金2,117百万円、未払法人税等2,505百万円が増加したこと等によるものです。固定負債は4,663百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,428百万円増加しました。主な内訳は、資産除去債務1,840百万円が増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は17,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,471百万円増加しました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は14,873百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,802百万円増加しました。主な内訳は親会社株主に帰属する四半期純利益2,959百万円計上したことにより、利益剰余金2,246百万円、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,090百万円増加したこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年8月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,496,485	5,518,176
売掛金	3,077,558	6,036,530
電子記録債権	679,342	2,021,712
商品及び製品	174,273	540,312
仕掛品	655,075	954,674
原材料及び貯蔵品	482,888	1,428,119
前払金	1,312,038	286,382
その他	274,953	712,303
流動資産合計	8,152,616	17,498,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,829,050	10,559,028
減価償却累計額	△4,668,904	△7,968,404
建物及び構築物（純額）	2,160,146	2,590,624
機械装置及び運搬具	5,570,706	8,433,440
減価償却累計額	△3,823,859	△6,477,883
機械装置及び運搬具（純額）	1,746,846	1,955,556
工具、器具及び備品	29,738,616	31,756,844
減価償却累計額	△27,844,602	△29,327,954
工具、器具及び備品（純額）	1,894,013	2,428,890
土地	1,287,158	1,377,588
リース資産	31,718	241,367
減価償却累計額	△9,295	△196,547
リース資産（純額）	22,423	44,819
建設仮勘定	49,856	62,543
有形固定資産合計	7,160,444	8,460,023
無形固定資産		
のれん	-	2,416,199
その他	486,813	448,202
無形固定資産合計	486,813	2,864,402
投資その他の資産		
投資有価証券	349,818	910,452
長期貸付金	7,522	7,500
繰延税金資産	32,495	177,812
その他	64,932	2,610,295
投資その他の資産合計	454,768	3,706,061
固定資産合計	8,102,026	15,030,487
資産合計	16,254,642	32,528,698

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,326,211	4,443,311
短期借入金	1,000,000	1,181,901
1年内返済予定の長期借入金	430,000	944,012
未払法人税等	15,503	2,520,935
賞与引当金	85,389	73,466
未払費用	281,993	2,005,425
前受金	2,355,325	1,116,330
設備関係支払手形	125,703	265,909
その他	328,528	440,473
流動負債合計	6,948,653	12,991,767
固定負債		
長期借入金	1,590,000	2,067,328
退職給付に係る負債	626,214	725,355
資産除去債務	-	1,840,827
その他	19,197	30,356
固定負債合計	2,235,411	4,663,867
負債合計	9,184,065	17,655,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,658,483	4,749,018
資本剰余金	384,033	2,475,074
利益剰余金	3,414,018	5,661,007
自己株式	△27,321	△59,690
株主資本合計	6,429,213	12,825,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,959	173,900
為替換算調整勘定	285,056	180,617
退職給付に係る調整累計額	42,034	34,564
その他の包括利益累計額合計	463,051	389,082
新株予約権	133,861	10,344
非支配株主持分	44,451	1,648,228
純資産合計	7,070,577	14,873,063
負債純資産合計	16,254,642	32,528,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	12,758,017	22,309,923
売上原価	11,446,842	18,994,966
売上総利益	1,311,174	3,314,956
販売費及び一般管理費	1,383,349	2,826,307
営業利益又は営業損失(△)	△72,175	488,649
営業外収益		
受取利息	13,064	21,770
受取配当金	8,602	9,016
受取保険金	10,000	-
還付消費税等	-	37,643
その他	3,854	18,593
営業外収益合計	35,521	87,023
営業外費用		
支払利息	25,387	104,645
為替差損	201	124,272
コミットメントフィー	635	-
その他	4,283	17,845
営業外費用合計	30,508	246,764
経常利益又は経常損失(△)	△67,161	328,908
特別利益		
固定資産売却益	8,415	7,019,052
補助金収入	55,911	-
違約金収入	-	1,000,000
特別利益合計	64,326	8,019,052
特別損失		
固定資産除売却損	3,800	263
減損損失	-	2,578,525
買収関連費用	-	30,301
その他	-	23,430
特別損失合計	3,800	2,632,520
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,635	5,715,440
法人税等	△4,815	2,321,445
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,820	3,393,995
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△2,232	434,372
親会社株主に帰属する四半期純利益	412	2,959,623

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,820	3,393,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,117	37,940
為替換算調整勘定	90,732	16,122
退職給付に係る調整額	5,786	△7,469
その他の包括利益合計	87,402	46,593
四半期包括利益	85,582	3,440,588
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,761	2,885,654
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,179	554,933

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使により、当第3四半期累計連結会計期間において、資本金が2,090,534千円、資本剰余金が2,090,534千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が4,749,018千円、資本剰余金が2,475,074千円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間において、Kunshan Veritas Automotive Systems Co., Ltd. および株式会社タマダイの株式を取得したことにより、両社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,468,609千円	1,370,200千円
のれんの償却額	—	198,791

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	自動車部品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	12,708,017	12,708,017	50,000	12,758,017
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	12,708,017	12,708,017	50,000	12,758,017
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△70,614	△70,614	△1,560	△72,175

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EV重機事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	自動車部品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	22,175,128	22,175,128	134,794	22,309,923
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	22,175,128	22,175,128	134,794	22,309,923
セグメント利益又はセグメント損失(△)	786,129	786,129	△297,480	488,649

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EV重機事業、リース事業、デジタルアセットマイニング事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「自動車部品」セグメントにおいて、厚木工場の土地の譲渡及び生産性の向上に向けた新拠点への移転等の再生プランの進行に伴い、厚木工場に帰属する固定資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結会計期間においては2,578,525千円でありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「自動車部品」セグメントにおいて、Kunshan Veritas Automotive Systems Co, Ltd.及び株式会社タマダイの株式を取得し連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結会計期間においては2,614,991千円であります。

（重要な後発事象）

1. 上場有価証券の取得

当社は、2026年1月19日開催の取締役会において、下記のとおり、ムラキ株式会社（以下「対象会社」といいます。）の株式を証券取引所を通さない相対取引（OTC取引）にて取得することを決議いたしました。

（1）株式の取得の理由

当社は、余剰資金の有効活用を目的とした純投資として、対象会社の事業内容、財務状況および今後の成長性等を総合的に勘案し、同社株式を取得することといたしました。

なお、本株式取得は、現時点において業務提携その他の事業上の協力関係の構築や、対象会社の経営に関与することを目的とするものではありませんが、将来において事業上の協力等を検討する可能性を否定するものではありません。

（2）取得する上場有価証券の概要

（1）	対 象 会 社 名	ムラキ株式会社（証券コード：7477）
（2）	取 得 株 式 数	250,000株
（3）	取 得 価 額	600百万円（1株当たり2,400円）
（4）	取 得 比 率	17.01%（取得後の議決権所有割合）
（5）	取 得 方 法	証券取引所を通さない相対取引（OTC取引）

（3）取得先の概要

（1）	名 称	MRK 1号投資事業有限責任組合	
（2）	所 在 地	東京都中央区日本橋蛸殻町2-11-3 日本橋水天宮ビル3階	
（3）	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	無限責任組員 合同会社 CYGNUS 代表社員 一般社団法人 SPE 職務執行者 江木 洋介	
（4）	事 業 内 容	投資事業	
（5）	資 本 金	—	
（6）	上 場 会 と 当 該 株 主 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
		人 的 関 係	該当事項はありません。
		取 引 関 係	該当事項はありません。

（4）取得価額の算定根拠

取得価額につきましては、取得実行時点における市場価格および対象会社の財務状況等を総合的に勘案し、取得先との協議のうえ、合理的に決定しております。

（5）取得後の保有方針

当社は、当該株式を中長期的に保有する方針であり、当面、対象会社への取締役の派遣や経営への関与を行う予定はありません。

また、現時点において、追加的な株式取得や資本業務提携等の具体的な予定はありません。

（6）日程

（1）	取 締 役 会 決 議	2026年1月19日
（2）	株 式 譲 渡 契 約 締 結 日	2026年1月19日
（3）	株 式 譲 渡 実 行 日	2026年1月30日

（7）今後の見通し

本件株式取得による当社の当期連結業績への影響は軽微であります。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 多額な資金の借入

当社は、2026年1月28日開催の取締役会において、以下のとおり運転資金の借入について決議し、2026年2月6日に借入を実行いたしました。

(1) 借入先	株式会社名古屋銀行
(2) 借入金額	4億円
(3) 借入金利	基準金利＋スプレッド
(4) 最終返済期限	2036年1月31日
(5) 担保等の有無	なし
(6) 財務制限条項の有無	なし
(7) 金銭消費貸借契約日	2026年1月28日